

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月16日実施)	総合評価 (3月18日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①知的好奇心を刺激し、表現力を伸長する授業を教員・生徒の相互で作上げるため、ICT技術を積極的に取り入れ、組織的な授業改善を推進する。</p> <p>②学校行事を精選し、準備や運営についても効率的な計画を立てるとともに、生徒の主体性を活かした運営を行う。</p> <p>③「見通しをたてる」、「現状を把握する」、「自ら課題解決ができる」ことを、プログラミング教育の3つの柱とし、この3つの能力の育成を目指す。</p>	<p>①ICT を利活用した授業改善を推進する。</p> <p>③各教科や教科横断的な活動を通し、生徒自らが課題を発見し、主体的、対話的な活動と論理的な思考の両立を目指し課題解決を図る授業づくりを推進する。</p>	<p>①One Day Try で得た成果を発展的に再構築し、継続的な学びを体系化していく。</p> <p>③見通しを持って粘り強く学習に向かうことができる「問い」や自分と他者との意見や考え方の比較検討・判断をする学習活動を創造する。</p>	<p>①ICT を利活用した組織的な授業改善を推進できたか。</p> <p>③生徒が意欲的に取り組む授業づくりを推進できたか。具体的指標として、生徒の知的好奇心が高まり、疑問を持ち、感動、問題を見出す姿が見られたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①基本的な生活習慣の定着や規範意識の醸成などの日常の生活指導上に関する課題とともに、いじめや問題行動、不登校・薬物乱用など、心や命にかかわる問題に対して適切な対応を行う。</p> <p>②学業との両立に留意し、部活動の適切な運営に努める。</p>	<p>①指導・支援方針の検討や情報交換の機会を設け、全職員の共通理解のもと、生徒・保護者のニーズを的確に捉え、アプローチする。</p> <p>①SNS の適切な使い方について、生徒に周知していく。</p> <p>②メリハリのある活動を意識し、生徒と十分なコミュニケーションをとり、生徒のニーズを踏まえた合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。</p>	<p>①SSW、SC、教育相談コーディネーター、養護教諭と連携し、全職員の共通理解のもと課題解決にあたる。</p> <p>①SNS に関して、学年集会・携帯電話教室等で、生徒に自覚を促す。</p> <p>②コロナウィルス感染対策を講じ、「部活動指導ガイドライン」に基づいた適切な活動時間等を設定し、生徒の目的や目標に応じた活動の場を設ける。</p>	<p>①ケース会議や事例検討会議を定期的に行き、生徒が置かれている状況をSSW・SC と積極的に協働することによって把握し、指導することができたか。</p> <p>①SNS に関するトラブルが昨年より減少したか。</p> <p>②部活動アンケートで「目標や練習の目的を意識して、活動している」「部活動と勉強の両立」「部活動の状況に満足」の結果が半数を超え、かつ、「できていない」の結果が2割以下となったか。</p>					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月16日実施)	総合評価(3月18日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	<p>①変化の早い社会、進路情報へ適切な対応ができる組織体制の整備をし、生徒が将来を積極的に開拓し、実現につなげる能力を育む。</p> <p>②生徒が自ら「情報収集・選択・提供」を積極的に行い、継続的に「チーム西湘」としての進路意識を高めていく。</p>	<p>①生徒のキャリア形成に資する進路行事・情報共有方法の組織化を図り、生徒・教員の進路開拓意欲を高める取組を進める。</p> <p>②組織的な出願指導に重要な情報の蓄積・共有方法の整理を行い、適切な情報提供を迅速にできる体制づくりを行う。</p>	<p>①LHR、オンラインを使った講演会、説明会などの開催とスピード感のある情報共有をする。</p> <p>②生徒・保護者・教員間での進路情報の様々な共有方法の組織的な確立を図る。</p>	<p>①生徒が主体的に進路選択をし、納得できる選択をすることができたか。</p> <p>②情報へのアクセス回数、進路相談の件数を増やすことができたか。</p>					
4 地域等との協働	<p>①非常時に対応できる体制作りを推進し、地域と協働した防災活動に取り組む。</p> <p>②PTAや近隣の学校等との交流・連携事業を行い、地域の教育力を活用する。</p>	<p>①地域と連携し、災害発生時の初動対応についての意識を高める。</p> <p>②PTAと協力し、学校との連携を深めるとともに、生徒とPTAとの交流を推進する。</p>	<p>①生徒が主体的に活動する防災訓練や啓発運動を実施する。</p> <p>②講演会や研修会を開催し、保護者への参加を呼び掛ける。</p>	<p>①防災訓練、啓発運動等を通して、生徒が正しい初動行動をとることができたか。</p> <p>②講演会等に保護者が参加し、生徒との交流を深めることができたか。</p>					
5 学校管理 学校運営	<p>①生徒と向き合う時間を潤沢にするため、教員の働き方改革を推進する。</p>	<p>①グループ業務の見直しによる業務改善を図る。</p>	<p>①グループや学年等を中心に業務の見直しを推進し、業務量の削減を図る。</p>	<p>①年度末の企画会議において、業務の見直しが推進できたか確認する。</p>					